

を尋ねる。

答 昨年より、「白砂青松の復活と飛砂防止」をコンセプトに緑地の構想をまとめている。その構想は、約三百mの海岸線に沿って松の苗木を帯状に植栽して松林になるようにして、人工構造物をできるだけつくらず、砂浜とマッチした昔の海岸線のイメージを再現する。なお、来年度から逐次整備を進めていきたい。

大場久充 (市政クラブ)

第二退職金の廃止を

問 第二退職金といわれる職員互助会からの退会



一時金は廃止し、市からの交付金の投入も違法との判決があるので中止すべきではないか。

答 退会一時金は、互助会が行っている共済給付事業の一つで、第二退職金ではない。しかし互助会運営も厳しくなってきたので、今後は見直すことも考えられる。

高裁での判決内容、経緯などはよく勉強し、検討させていただきたい。

給食費の滞納について

問 給食費の滞納はあるか。その対策はどうか。また、前納制度を導入する考えはないか。

答 平成十一年度から十五年度までで十八名、五十万円弱が未納である。

その対策は児童生徒が在籍中は、学校を通じ督促するが、卒業、転居後二年間は給食会が督促し、二年経過後に不納欠損処理を行っている。

前納制度は、現段階での導入は難しい。

藤田勝司 (市政クラブ)

市財政について

問 職員定数、各種手当等の見直しをどう考えているか。補助金、使用料及び手数料についてはどうか。市所有の施設のうち不要となったものは、統廃合すべきでないか。また、ボランティア団体等を育成し、管理を依頼したらどうか。

競艇場においても人件費、広告宣伝、岡崎市との利益配分の見直しなどを進めるべきだと思うがどうか。

答 職員の削減は計画以上に達成しているが、今



後も引き続き削減に努めていく。調整手当等の見直しは、できるものから進めていきたい。

補助金は十三年度、使用料、手数料は十五年度に見直しを行った。受益者負担、公平性の観点から引き続き見直しを進める。

十八年度から指定管理者制度が導入されることに伴い、現在、施設の管理は見直しが行われつつある。競争原理が働き、より効率の良い管理委託ができるものと考ええる。

競艇場の人件費、広告宣伝、岡崎市交付金の見直し等については、競艇職員が一丸となり努力している。

伊藤勝美 (公明党)

地震防災について

問 耐震力が不足している宮成防災倉庫の備蓄食糧及び資機材の取り扱いについて伺う。

答 代替施設の確保、あるいは一時的に他の施設へ移すことなどを行い、防

宮成防災倉庫



災体制の万全を図りたい。

問 県教育委員会が地震対策マニュアルを策定しているが、本市の状況はどうか。

答 各学校ごとに安全マニュアルを作成し、地震への非常配備、安全避難の方法を定めている。しかし、実際に学校が避難所になった場合の対応は、十分に検討されていないので、現在、避難所マニュアルづくりを進めている。

問 地震注意情報発表時、市民への情報提供の時期と伝達方法を伺う。また、